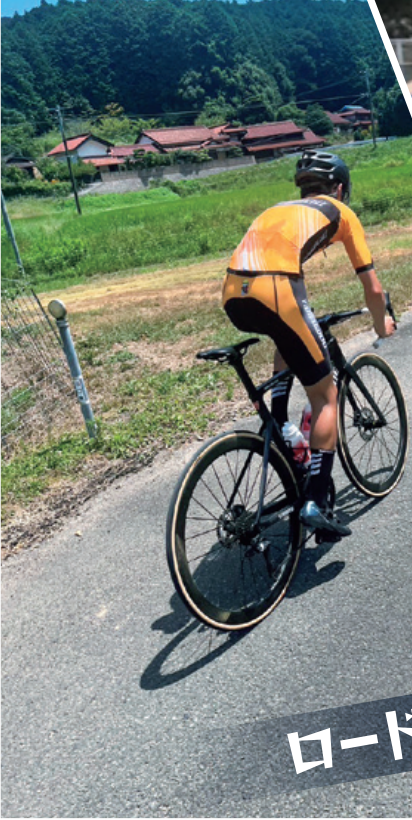


# 次世代 HERO

Next Generation's Hero



ロードレース



トラックレース

## JOC ジュニアオリンピックカップ出場

◆川中中学校3年生  
江川 一輝 さん

◆日新中学校2年生  
濱野 駿 さん

ロードレースの江川さんと、  
トラックレースの濱野さん。  
競技種目も年齢も違う2人の関係は、仲間でありライバル！

江川さん(左)と濱野さん(右)



▲2人とも弱虫ペダルで好きなキャラクターは小野田坂道くん！

2 人が自転車競技を始めたきっかけは、人気漫画の弱虫ペダル。

江川さんは11歳で自転車競技を始めて、1日でロードバイクに乗れました。欲しい自転車を買ってもらうために良い記録を目指すようになり、今では自転車は身体の一部に。レース前はピリッとした空気の中、洋楽を聴いて気持ちをリラックスさせるそうです。一方の濱野さんは江川さんとは対照

的に、レース前は他の選手と会話してテンションを上げていきます。そんな濱野さんは小学3年生までは自転車に乗れませんでした。涙を流しながらも一生懸命にお母さんと特訓を重ね、今では時速50km超えのロードバイクで速さを競っています。

江川さんは高校のインターハイでの活躍、濱野さんは次のJOCでトラックレース3kmの部優勝と、今後の目標を語ってくれました。



## 絶好調！ ふるさと納税 ～ 中国地方第2位～



## 市長コラム 希望の風 市長の部屋

これからも頑張っていけます！

下関の魅力をもっと全国に発信して、多くの方に下関を認知していただき、ふるさと納税の拡充にもつなげていけるよう、

人気の商品は何といっても「ふく」ですね。「ふく」の他にも非常に人気のある豊田・豊北の「梨」、そして「クレープ」も人気上昇中なんです。他にもイカや鯨、餃子も人気が高まっていますよ。

返礼品は下関の事業者に発注され、地元にお金が回る仕組みになっています。ふるさと納税という制度は、市外の方々からの応援寄附金として市にお金が入るだけではなく、地方の経済の好循環にもつながる、素晴らしい制度であると言えるでしょう。

皆さんから頂いた寄附金は、子育て支援や福祉をはじめ、まちの活性化にしっかりと役立てられています。

こんにちは！ 前田晋太郎です。皆さん、ふるさと納税という制度をご存知ですか？ 下関では、今、ふるさと納税が絶好調なんです！

この制度が始まった頃は、市への寄附額はごくわずかでした。ところが年々取り組みを強化していったところ、令和5年度の寄附額はなんと16億円を超え、山口県内では金額も件数も断トツの1位！そして中国地方でも米子市に続いて2位の寄附額を確保するまでに至りました。

さまざまな返礼品がそろっています、